

宝生流

特別公演

Shakkyo 石橋



- 能「景清」…………… 武田 孝史
- 仕舞「呉服」…………… 石黒 実都
- 仕舞「小塩 キリ」…………… 山岡 晴美
- 仕舞「金札」…………… 久貫 弘能
- 狂言「樋の酒」…………… 野村 万禄
- 半能「石橋 連獅子」…………… 宝生 和英
佐野 登



宝生 和英



武田 孝史



佐野 登



山岡 晴美



久貫 弘能



石黒 実都



野村 万禄

Hinosake 樋の酒



2023年 1月15日(日) 13:00開演 [12:30開場]

大濠公園能楽堂 福岡市中央区 大濠公園1-5

S席 8,000円 / A席 6,000円 / 自由席 4,000円 (税込)

■大濠公園能楽堂 092-715-2155 ■エムアンドエム 092-751-8257

■チケットぴあ [Pコード 514-921] セブン-イレブン店内 / WEB受付

お問い合わせ&お申し込み:
大濠公園能楽堂 092-715-2155
[月~金 9:00~17:00] ※月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌日休館)

大濠公園能楽堂 <http://www.ohori-nougaku.jp>

チケット発売 2022年 10月1日(土) 10:00~

※新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催いたします。※館内での飲食はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により出演者・番組が変更となる場合がございます。
※上演中の写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします。※未就学児の入場はできません。

主催 公益社団法人能楽協会
大濠公園能楽堂
西日本新聞社



文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

「宝生流」特別公演

(13:00)

能 景

清

人丸(景清の戀) 高橋 憲正
人丸の従者 小倉伸二郎
平景清 武田 孝史

里人 福王 和幸

大鼓 白坂 信行
小鼓 幸 正佳

笛 相原 一彦

後見 宝生 和英
小倉健太郎

地謡 福田 清道
杉岡 敏英
和久莊太郎 東川 光夫
水上 優 高橋 亘

(休憩)

仕舞

呉服 石黒 実都
小塩 山岡 晴美
金札 久貫 弘能

内藤 飛能
東川 光夫
東川 尚史 基

(15:00)

狂言

樋の酒

太郎冠者 野村 万禄

主 吉良 博靖

次郎冠者 吉住 講

後見 杉山 俊広

半能 石

橋

赤獅子 宝生 和英
白獅子 佐野 登

連獅子 寂昭法師 福王 和幸

後見 小林与志郎
小倉健太郎

大鼓 白坂 保行
小鼓 横山 幸彦

大鼓 田中 達

地謡 石塚 尚寿
鶴田 航己
上野 能寛
高橋 憲正

高橋 憲正 小倉伸二郎

水上 優
和久莊太郎
東川 尚史
内藤 飛能
今井 基

終演予定 16時00分

解説

能 景清

かげきよ

老残の景清が語る、若かりし日の合戦での雄姿
鎌倉時代初期。九州に流された平家の侍景清を訪ねて、娘の人丸(ツレ)が従者(トモ)を連れて日向を訪れる。それとは知らず景清の庵を訪れた二人であったが、景清(シテ)は自らの正体を隠し、景清のことはよく知らない」と言って二人を帰す。その後、里人(ワキ)に景清の在所を尋ねた二人は、先程の人物こそ景清だと教えられ、再度景清の庵を訪れる。里人は人丸を景清に引き合わせるが、景清は今の境遇を嘆き、自分が名乗らなかつたのは人丸の世間体を守るためだったと明かす。景清は所望されるままに、屋島の合戦での武勇を誇らしげに語るが、やがて我にかえり、今の身を恥じる。親子は別れの言葉を交わし、人丸は景清に見送られながら、宮崎の地をあとにするのだった。
過ぎ去りし日への追憶。しかしそれは、今の境遇との落差という現実を、不応なしに突きつけてくるものであった。

狂言 樋の酒

ひのさけ

にぎやかな狂言小舞がいくつも登場する
酒宴も見どころ

主人は、太郎冠者(シテ)に米蔵を、次郎冠者(アド)には酒蔵を預け、それぞれ持ち場を離れず留守番をするように命じて出かける。太郎冠者がふと窓から酒蔵をのぞくと、次郎冠者が盗み酒をしている。太郎冠者も相伴にあずかりたいが米蔵をあげるわけにはいかず、思案のすえ、竹の樋を窓越しに渡して酒蔵から米蔵へ酒をつぐ。いい気分になった二人はいちいち樋の酒はめんどごとく、酒蔵へ台流するが..

半能 石橋

しやつきょう

文殊菩薩の使者である獅子が石橋に現れ
咲き乱れた牡丹の花に戯れて勇壮な舞を見せる

豪快な獅子の舞によって、世を寿ぐおめでたい能。専用面(獅子口)を付けた獅子、豪華な装束、美しい牡丹の作物(舞台装置)など、見た目の華やかな作品。祝いの気分をさらに盛り上げるために、前半が省略されて、寂昭法師が登場するとすぐに後半に接続する形式で上演することが多い。今回も「半能」形式で上演。

人間の世界と文殊菩薩浄土の間に架かる石橋。その周りに咲き乱れる牡丹の花。そこに現れる霊獣の獅子の舞が見どころ。後に歌舞伎舞踊「連獅子」の元となった。
口伝や秘伝も多く、そのため能楽師にとっては、特に大事な能として扱われている。

大濠公園能楽堂

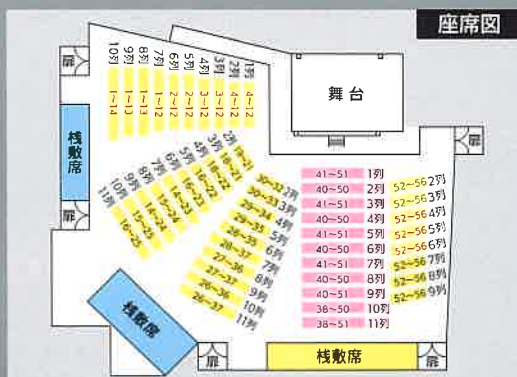
福岡市中央区大濠公園1-5

交通アクセス

- 地下鉄「大濠公園」駅より徒歩7分
 - 西鉄バス「大濠公園」または「黒門」バス停より徒歩3分
- ※能楽堂には専用駐車場がございません。
大濠公園内および近隣の有料駐車場をご利用ください。

座席表

S席 A席 自由席



予告
九州宝生会定期「七夕能」
期日：令和5年7月9日(日)
会場：大濠公園能楽堂
演目：能「鉄輪」シテ：石黒実都

